

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

第二回郷土の会・交流会が開催されました！

九月二十六日、第二回「郷土の会・交流会」を実施しましたところ、二十六名参加をいただきました。今回は二班が担当することになっていましたので、七月五日に打合せ会を開き、今回は少し趣を代えて、さいたま市盆栽美術館と漫画会館を見学してから、懇親会を開くことにして本日の開催の運びとなりました。

九月中旬まで猛暑の連日で各方面に大きな悪影響をもたらしましたが、台風の訪れとともに、ウソのように過ごしやすい天気となり、本日も暑くもなく参加者のみなさんもホッとしていたのではないのでしょうか。土呂駅に集合して盆栽美術館まで歩きました。距離としては短く物足りませんでしたが、懇親会を控えていることを考えると、程良い距離でした。初めての公立の「盆栽美術館」として、今年の3月に開館しましたが、私をはじめ参加者の多くが訪れるのは初めてとあって期待していました。私も盆栽については何も知らないのですが、事前に調べて訪れました。

盆栽とは

草木を鉢に植えて、枝ぶり、葉姿、幹の肌、根及び鉢の総称、もしくはその姿全体を鑑賞する趣味。また、その植物の、野外で見られる大木の姿を、鉢の上に縮尺して再現することを目指すものである。

そのために剪定を施したり、自然の景観に似せるために枝を針金で固定し時に屈曲させあるいは岩石の上に根を這わせたりと様々な技巧を競うのも楽しみの一つとされる。施肥、剪定、針金掛け、水やりなど手間と時間をかけて作る。生きた植物なので「完成」というものがなく、常に変化するのも魅力の一つと云われている。

盆栽の歴史

中国で唐の時代に行われていた「盆景」が平安時代に日本へ入ってきて始まり、江戸時代になると武士の副業としても盆栽の栽培が盛んになり、盆栽や園芸は興隆する。明治以降も盆栽は粹な趣味であったが、培養管理には水やりなど手間と時間が必要のために、生活環境の推移によって次第に愛好者は時間的余裕のある熟年層が多くなった。そのため、戦後から1980年代ぐらいまでの間は、年寄り臭い趣味とされた。しかし、1980年代以降盆栽が海外でも注目を集めるとともに見直す動きが高まり、若者の間でも粹な趣味として再認識されるようになってきている。

郷土の会 田中忠さんが盆栽愛好者で

「ご自分のホームページで紹介しています。」

http://www.olff.net/HP/t-tanaka/bonnsai/bonnsai_1.htm

展示されていた盆栽（19点）

私の気に入った五葉松（日暮し）



解説文

大小ふたつの幹の間に抱えこまれるようにして生まれた空間が、不思議な魅力をもつて鑑賞者の視線を引き寄せる。本作の銘は、新潟の石油王として知られた中野忠太郎により、一日見ているも見飽きないという意味を込めて命名されたという。



絵画の鑑賞と違って、余りにも身近な自然景観をなしている植物のミニチュア版とあって、そこまで時間を掛けて作り上げる作者の努力は、どの作品を見ても伝わってきますが、**日暮しの解説文のような見方は個人の感性と豊かな想像力によるところが大きく**、何も知らない私にとつては、そういう見方をしていくのかと学ぶことばかりでした。多くの人を感動させる観点から見れば、盆栽も芸術作品と言っても過言でないと思います。記念に一句詠みました。

盆栽も秋めく広きお庭かな

盆栽美術館を後にして漫画会館に向かいましたが、途中で小雨が降り出したので漫画会館はキャンセルして、大宮公園駅前の懇親会会場「日本海庄屋」へ急ぎました。

まずは、第二回郷土の会開催を担当された二班の司会で懇親会が始まりました。梅田さんの乾杯、次に田中校友会会長の挨拶がありました。暫らく、美味しい料理で会食してからウオーキングクラブの天谷さんから後期行事計画の発表があり、次に法事で遅れて到着した二班班長の大阿久さんの挨拶に続いて楽しい余興に移りました。

今回の余興は梅田さんと岡田さんのアイディアで知的な遊びとして、川柳と俳句の「空欄埋め」ゲームを行いました。空欄に正しい言葉を解答された方に景品を差し上げました。郷土の会には、梅田さん指導の俳句ユメクラブもあることから、盆栽美術館でも俳句を詠んでいた方も見受けられたように、皆さん、真剣かつ笑いを交えながら解答されていました。十五人の方が景品をゲットされました。

時にはこのような知的な頭の体操で楽しむのも素晴らしいことです。楽しい時間もあったという間に過ぎ去ってしまい、最後に次回の交流会を担当する三班の北氏さんからの挨拶をいただき、担当班の一本締めで懇親会を閉めていただきました。





穴埋め問題（正解は原句通りとする）
A 川柳に関する問題

1. 三つほどサバを読んだら□□言えず
2. 家計簿に妻の□□が少しある
3. ワイン好き□□好きと言つべきか
4. ならめっこ□□に勝てるはずがない
5. 白い肌ちよつと見せてる□□

B 俳句・季語に関する問題

6. 褒め言葉にも裏表□□奴
7. やや老いし横顔ならび祭□□
8. □□焼してまこと仲良き兄おとと
9. 公園にきて□□涼と思ひけり
10. 七輪で家族の数の□□魚焼く

C 俳句・季語に関する問題ではありません

11. 地下□□を出で片陰に沿ひ行けり
12. ペン皿に異国の□□貨夏の果
13. ひべらしの声□□底こしみてほる
14. 落人の家の門□□黒揚羽
15. 野葡萄や降つては□□て峡の空

10月からの予定

h22. 9. 25発行

1	10月5日(火)	古河宿	JR 古河駅 10時30分集合
2	10月19日(火) 番外	嵐山-1	JR大宮駅 9時30分集合 武蔵嵐山河原でバーベキュー
3	11月16日(火)	岩槻	東武岩槻駅 10時30分集合
4	12月15日(水)	蕨宿	JR蕨駅 10時30分集合
5	1月18日(火)	東松山	JR大宮駅 9時30分集合
6	2月15日(火)	嵐山-2	JR大宮駅 9時30分集合
7	3月15日(火)	霞が関	JR大宮駅 9時30分集合 川越迄歩きます
8	3月29日(火) 番外	花見を兼ねて	東武線 野田駅 清水公園を計画（場所は未定 変更有り）

* 10月19日は、県立嵐山史跡の博物館、菅谷館跡をみて、嵐山溪谷でバーベキューを計画していますが、準備の都合が有るので、参加希望の方は、10月15日迄に参加の連絡をお願いします。（材料費 1000円当日徴収させていただきます）

* 日程 集合場所 時間は基本的に変更しません。
 総て雨天中止です 判断は集合時間一時間前(自宅を出る頃)
 雨の時は中止と考えて下さい。

* 欄外 予定 下記も有ります（サークル公式計画外）

	10月30日(土)	与野秋祭り (大正時代祭)	JR与野駅 13時頃集合
	11月6日(土)	寄居秋祭り	秩父鉄道熊谷駅 14時頃集合
	12月14日(火)	義士まつり	JR大宮駅 9時頃集合